

原子力安全・保安院からの発信メール

大飯発電所4号機における「海水系除塵設備に係る警報の発生」について

本日11時53分、大飯発電所4号機の中央制御室で、海水系除塵設備※の排水ポンプが停止した旨を示す警報（海水ポンプ電気室電源注意）が発生しました。

※海水を取水した際、取水ロスクリーンに付着した藻やクラゲ等のゴミを排出する設備。
当該ポンプは、ゴミを分別後の水を海へ放出するためのポンプ。

警報は、12時05分に消灯しています。

その後、12時19分から12時31分にかけて当該ポンプを再度運転しましたが、異常は確認されませんでした。

原因は、集積槽からゴミを含む海水をポンプでくみ上げる際、一時的にゴミが詰まったものと推定されます。今後、念のため集積槽の清掃を行う予定です。

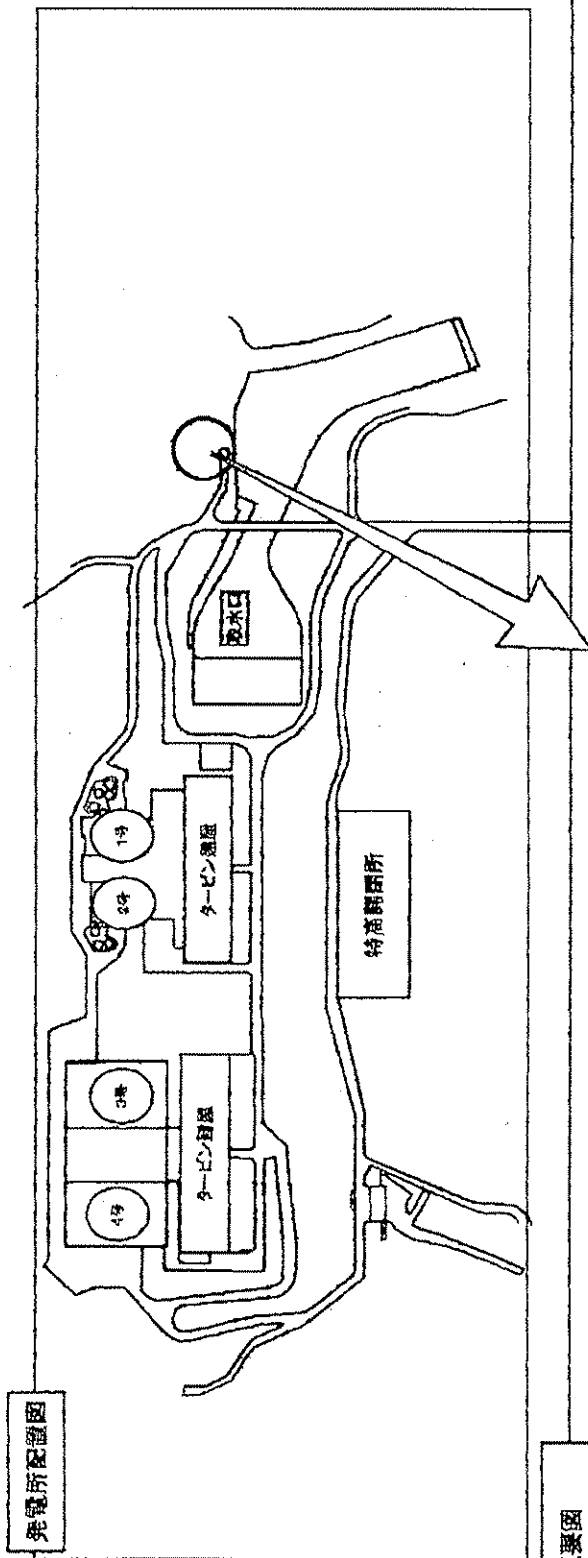
4号機の海水の取水には影響はありません。

外部への放射性物質による影響はありません。

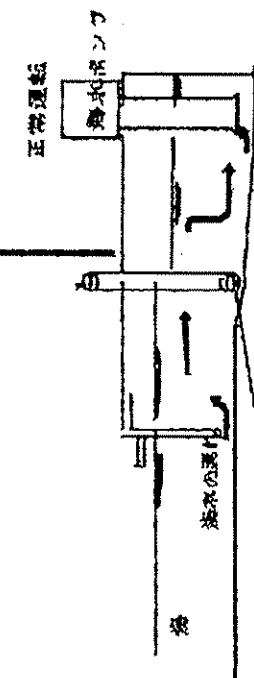
また、起動プロセスへの影響はなく、計画通り起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

以 上

大飯発電所4号機 海水系除塵設備に係る警報の発信について



海水とごみが混入



ロータリースクレーン：網目状のローラでごみを取り除く設備

海水とごみが小さなごみが混入

海水ポンプ室トラッシュピット (集積槽)

＜事象＞
 トラッシュピット内に海水と網目を通りこしたごみがたまり、ポンプ起動後にポンプ吸い込み口のごみが集まり、詰まったことにより、ポンプのモーターが過負荷となった。

図表を参照してください。